

教育目標

- ◆ 考えてやりぬく子（重点目標）
主体的に学び、高め合いながら考え行動できる児童
- ◆ 明るく思いやりのある子
多くの人とかかわり、自他を尊重しながら行動できる明朗で心豊かな児童
- ◆ たくましくじょうぶな子
体力向上と心身の健康の保持増進に努める強い意志と体をもった児童

1 特色ある教育活動

地域の豊かな自然環境、人材、施設を活かしたESDを通し、SDGs達成に向けた人材育成をします

(1)自然や人材、施設を活かした体験活動

桜ヶ丘公園、大谷戸公園、谷戸田、多摩川、地域の商店や施設での体験学習



2 子供たちの安全・居場所づくりのために

保護者・地域との連携を深め、信頼関係の確立と安全・安心な生活づくりを推進します

(1)放課後子ども教室を毎日実施(民間委託) (2)青少協・地域との連携

民間委託の常駐職員の安全管理のもと、子供の居場所の確保



主な年間行事

4月	始業式 入学式 あいさつ運動 健康診断 保護者会 1年生を迎える会 地域訪問
5月	セーフティ教室(学校公開) 運動会 交通安全教室(2年)
6月	道徳授業地区公開講座(学校公開) 交通安全教室(1年) 心の劇場(6年) 読書週間 自転車シミュレータ(3年) 個人面談①
7月	社会科見学(4年①) ハケ岳集団宿泊(5年) 夏季休業 算数教室
8月	夏季休業 ハケ岳移動教室(6年)
9月	小中三校合同引き渡し訓練 あいさつ運動 保護者会 社会科見学(3,5,6①年) 中学校体験(6年) 前期終業式 秋休み 後期始業式

3 教育目標達成に向けての具体的取組

(1) 確かな学力を育むために

- ① 基礎学力の定着・・・学力分析に基づく「読む・書く・計算する」力の定着。東京ベーシックドリルの活用。算数習熟度別少人数指導。あさ学ルーム(地域未来塾)や夏季算数教室による学習の補習。
- ② 思考力・判断力・表現力の育成・・・読書活動の時間確保。問題解決学習のサイクルを重視した学習。1人1台タブレット端末の活用。
- ③ 学習意欲の向上・・・体験学習や校外学習の充実。外部指導者の積極的活用。全学年で自主学習に取り組み児童の主体性を育む。



算数少人数指導

(2) 豊かな心の育成のために

- ① 心身ともに安全・安心な学校づくり・・・あいさつ・返事の徹底。いじめ防止基本方針に沿った児童アンケートの実施。スクールカウンセラーとの連携。避難訓練、地域・近隣校との合同防災訓練、セーフティ教室(ネットモラル)、交通安全教室、自転車シミュレータ、安全指導。
- ② 自他の個性を温かく認め合い高め合う学校づくり・・・たてわり班活動。特別支援校内委員会を中心とした合理的配慮の実施。飼育動物との触れ合いによる他者理解。
- ③ 道徳的価値の向上と実践力の育成・・・規律ある温かな学校生活。自他の行動を振り返る機会の設定。考え方議論する道徳科授業の推進。くじけない心の育成。



地域連携総合防災訓練

(3) 健康教育の充実と体力向上

- ① 体力向上を目指した様々な取組・・・体育朝会。チャレンジ体力テスト週間。なわとび週間。マラソン週間。ラジオ体操週間。
- ② 保健指導の充実。学校保健委員会開催。



1人1台タブレットPCの活用

(4) 持続可能な社会の担い手を育むための取組

- ① ESD の推進・・・豊かな体験活動から始まる問題解決学習。外部人材、環境資源、臨地見学の積極活用。環境保全意識や郷土愛の育成。
- ② ユネスコスクールの取組・・・教育活動を積極的に交流・発信。
- ③ SDGs の達成・・・自らの学びと SDGs の関連を検証。自己有用感の育成。アントレプレナーシップによる持続可能な社会を担う人材育成。
- ④ コミュニティ・スクールとしての取組・・・地域学校協働本部を活用し、地域と連携した体験活動、学習活動の充実。
- ⑤ 未来への責任を自覚する取組・・・気候変動教育(CCE)の一環としての聖蹟桜ヶ丘駅前イルミネーション、フードロス、プラスチック削減。
- ⑥ 幼・保・中・特別支援学校との交流・・・相手を尊重する心情と行動力の育成。人権尊重意識の向上。



外部人材を活用した授業



気候変動教育(CCE)

10月	遠足(1,2年) 学校公開(地域連携総合防災訓練) 社会科見学(5年) 読書週間 たてわり遠足
11月	展覧会 社会科見学(4年②) 連合音楽発表会(5年)
12月	個人面談② エコプロ2024(6年) 冬季休業
1月	冬季休業 あいさつ運動 学校公開 書き初め展 社会科見学(3年) 小・中学校図画工作・美術展
2月	生活・総合発表会(学校公開) 社会科見学(6年②) 読書週間
3月	6年生を送る会 保護者会 修了式 卒業式